

2022年3月29日

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

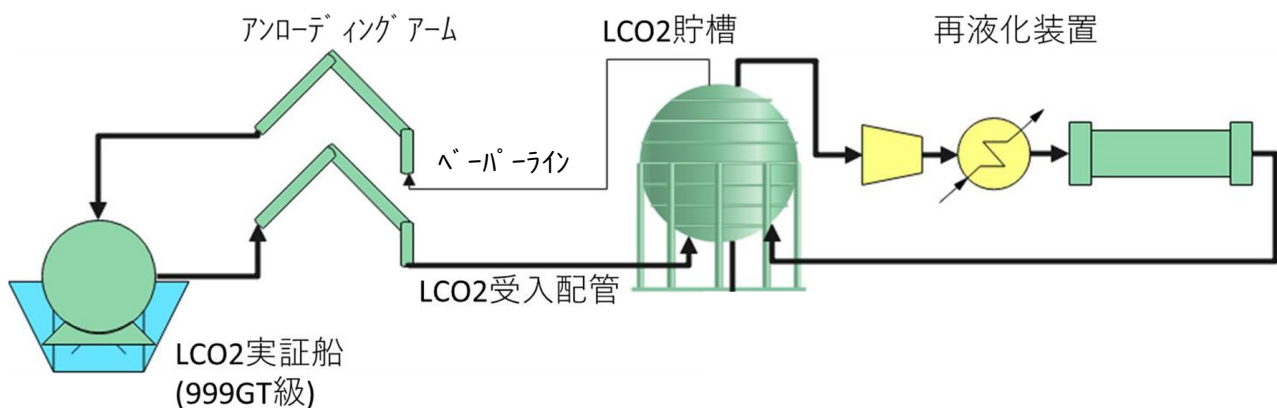
## CO<sub>2</sub>受入・貯蔵設備建設工事（EPC）を受注

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：元内利文、以下「当社」）は、このたび、日本CCS調査株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中島俊朗）より「CO<sub>2</sub>受入・貯蔵設備建設工事（EPC）」を受注いたしました。

本工事は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO<sub>2</sub> 輸送に関する実証試験」において実施する年間1万トン規模のCO<sub>2</sub>船舶輸送実証試験のうち、液化CO<sub>2</sub>実証船により輸送された液化CO<sub>2</sub>(LCO<sub>2</sub>)を受入貯蔵するための陸上設備を建設するものです。

CCUSを目的とした液化CO<sub>2</sub>の船舶輸送受入基地は国内初であり、当社はLNG内航船受入基地の建設で培った知見・技術を活用し、受入設備から貯蔵設備までの基地一式の設計から建設までを一貫して取り組みます。

当社は、今後とも、脱炭素社会を実現するための技術開発に取り組むことで、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。



【お問い合わせ先】

総務部 総務室：03-6865-6000